

とよなか 環境



ニュースレター

発行：豊中アジェンダ21推進会
編集責任者：奥野 享
事務局：豊中市環境部環境政策課
〒561-8501 豊中市中桜塚3-1-1
Tel:06-6858-2127 Fax:06-6842-2802

この号のハイライト

P.1 NPO学習会/P.2 交通部
会/P.3 産業部会・花と緑/P.
4 自然部会、竹炭プロジェクト/
P.5 企画屋、生活部会/P.6 ひと・
hito /P.7 とよなか市民環境
会議/P.8 今後のスケジュール

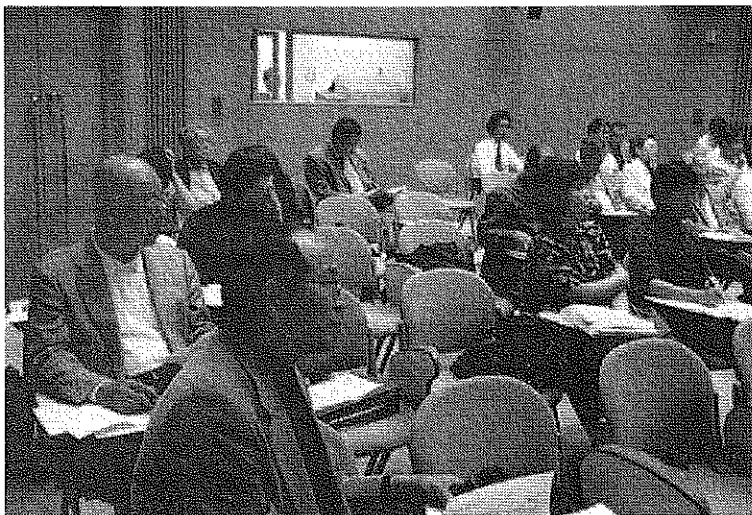
2003年(平成15年)6月号 NO.3 (通巻第21号)

豊中アジェンダ21推進会の法人化に向け

昨年6月の豊中アジェンダ21推進会の発足以来、組織をNPO法人化することはほとんど避けて通れない道行きのようにも思われてきましたが、いざ現実になるとなると色々な不安や問題も感じられます。これらの点について4月25日夜、くらしかんで学習会を持ちました。講師はNPO政策研究所常務理事内山博史さん、参加者は40人でした。

NPOとボランティア

運動がボランティアの集まりに止まることなく、継続性を持ち活動しやすいようにするためには、常時勤務できる職員や活動家も必要になってきます。それがいま直面している問題ではないでしょうか。



ボランティアは自己実現や自己満足のための活動であってよいのですが、NPOとして登録した法人になると、目的の達成度が評価基準になります。NPOとしての事業計画、会計も含め事業報告などの実態をオープンにし情報公開することが求められます。それが社会的信用にもつながっていきます。

NPOの社会的な意味

NPOは直訳すると「非営利組織」。より厳密に定

義すると「ある特定の社会的目的を追求するために、営利を目的とせず、政府や自治体から独立した民間の自発的な組織」ということになります。ですから仮に利益を上げても、それを構成員に分配したりは出来ません。



非営利組織ではありますが、NPO法人が組織を運営するためには、たいがいの場合収益活動を続けることが必要になります。日本の多くのNPOは事業委託など収益活動を行っています。寄付行為などが社会的慣習としてこれまで定着して来なかったことにもよります。

NPO取得は、運動を持続可能なものにして続けていく一つの手段でもあります。同時に、多くの市民に関われ参加の機会が保障された組織として、市民と活動家を繋ぐコーディネート機能も大事な部分となります。これからの運動を発展させていくために重要なステップとなるでしょう。

ローカルアジェンダ21の推進

この日は特別講師として、アジェンダ会員のK.Kさんから「ローカルアジェンダ21の推進」についての課題提起がありました。豊中市のアジェンダ21は市町村のなかではもっとも先進的に、他都市に先んじて策定されましたが、その後の海外事例も含めた研究では環境問題だけに限定せず、より広く地域課題も含めたローカルアジェンダが多く見られることなど、例を挙げての説明がありました。

今後、豊中アジェンダ21の見直しにあたって、大いに参考になる話でした。(奥野 享)

交通部会 モノレール駅でのレンタサイクルシステム導入事業アンケート結果

この事業は、環境省の地域協議会温暖化対策モデル事業「脱温暖化モデルプロジェクト」として、大阪府、豊中市の協力を得て大阪高速鉄道（株）と共同で実施しました。実施期間は、2002年（平成14年）11月25日から2003年（平成15年）3月24日の4カ月間で、利用者は117人とやや低調でしたが、利用者と環境展及び新千里東町・まちかど広場でのアンケートにはたくさんの方にご協力頂きました。

利用者アンケート結果の概要

●20代が37%、30代が27%で以下40代、50代と続く。

●居住地は、豊中市が最も多く38%、続いて大阪市、池田市、吹田市の順になりその他39%で、千里中央周辺以外から来られた方の利用が約9割で、周辺に居住している方は約1割であった。

●利用経験は、初めての方が58%となっていた。

●目的は、平日は仕事や買い物・食事が多く、休日は買い物・食事が40%となる。

●利用料金は、月極は75%が適切と答え、一時利用も適切が61%、安いと39%と答えた。

●今後とも利用したいかとの問いには、引き続き利用したいが87%、したくないと答えた人はいなかった。

●改善したほうが良い点は、

- ・電動アシスト自転車の導入 56%
- ・乗り捨てが可能なシステムの導入 34%

●レンタサイクルが有れば、

- ・公共交通の利用が増える 43%
- ・公共交通の利用が若干増える 16%
- ・自動車利用が減少する 28%
- ・自動車利用が若干減少する 18%
- ・公共交通の利用が便利になる 38%
- ・排出ガスの減少につながる 8%
- ・放置自転車のサイクルとして有効 10%
- ・行動範囲が広がる 33%
- ・運動不足の解消(健康)にいい 3%
- ・駐輪スペースが少なくてもいい 8%

市民アンケート結果の概要

市民アンケートは、246名に回答を頂きました。

●回答者の年齢・職業は、平均年齢が52歳、家事専業・無職の方がやや多い。

●レンタサイクルの認知度

今回の事業（千里中央駅）、既設（阪急岡町駅）の認知度は、それぞれ46%、45%と半数以下であった

●レンタサイクルの利用経験

利用したことがあると回答した人は、18%で、大半が経験をしていない。利用した方のうち、75%が

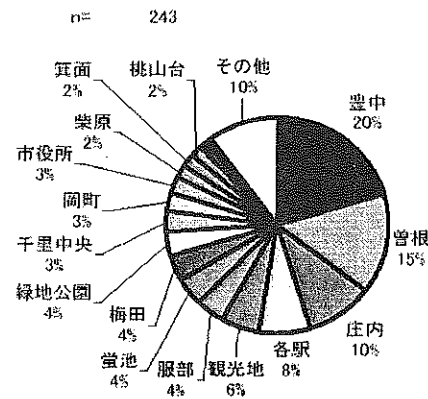
観光地等で、市内では千里中央が7%、阪急岡町は18%である。

●「利用したいですか」の問いには、69%が利用したいと回答し、高齢の方が多い。

●「利用の目的は」

観光・行楽が55%で、買い物・食事が30%、通勤15%、仕事13%と続いている。

●「利用したい駅は」阪急豊中駅20%、曾根駅15%が多く。（円グラフのとおり）



●利用したくない理由

- ・利用したいところに無い 38%
- ・普段から自転車に乗らない 29%
- ・走れる道があまり無い 12%
- ・坂道がづらい 12%
- ・料金が安い 10%
- ・雨の日がづらい 9%

●どのようなレンタサイクルがいいか

- ・他の場所に乗り捨てできる 61%
- ・放置自転車の再利用 54%
- ・電動アシスト自転車利用 33%
- ・その他（デザイン等） 6%

●レンタサイクルが有れば

- ・公共交通の利用が増える 18%
- ・公共交通の利用が若干増える 32%
- ・自動車利用が減少する 23%
- ・自動車利用が若干減少する 31%

半数が公共交通を利用が増加し、半数以上が車の利用を控えると考えていることが分かる。また

- ・公共交通の利用が便利になる 22%
- ・排出ガスの減少につながる 30%
- ・放置自転車のサイクルとして有効 21%
- ・行動範囲が広がる 8%
- ・運動不足の解消(健康)にいい 19%
- ・駐輪スペースが少なくてもいい 1%

と答え、実際に利用した人の回答より排気ガスの減少につながる(期待している)回答が多く見られるのが特徴となっている。

以上の結果から、「利用しやすいシステムの導入」、「電動等の負担の少ない自転車の導入」、「利用したいところでの展開」などを改善した場合は、もっと多くの利用が期待できることが分かった。（森岡秀幸）

産業廃棄物の適正処理・処分と減量化対策

産業部会報告と今年度の活動

3月19日(水)、平成14年度・第6回産業部会をくらしかんイベントホールで開催しました。1月の産業部会で事業系廃棄物の処理・処分の現状に関する学習会を開催しましたが、3月の産業部会では「産業廃棄物の適正処理・処分と減量化対策」について大阪府環境農林水産部産業廃棄物指導課の方にお話をいただきました。

「産業廃棄物は基本的には排出者が自分で処理するものであり、運搬業者や処分業者には自分に代わって処分してもらっているだけなので、排出者は最終処分まで責任がある。従って、処分業者が不法投棄して姿をかくすなどした場合、ごみを出した企業が処分の責任を負わなければならない。」

以上のように具体的なお話があり、参加者の方から多くの質問が出されました。また、大変勉強になった

という声が多く聞かれました。

◇

今年度は昨年に引き続き事業者の方たちの参考になる学習会や講演会、見学会などを開催してアジェンダの会員になっていただける事業所を増やすとともに、産業部会独自の取り組みを少しずつ上げていければと話合っています。

*産業部会長：山本和市(山本水圧工業所・相談役)

*アドバイザー：佐川直史(関西環境管理技術センター I SO推進室・室長)

今年度も昨年に引き続きこの体制で、ますます充実した活動をしていきます。ご期待ください。

なお産業部会には会員以外の事業所の方や市民の方も参加いただけます。みなさんお気軽にご参加ください。

(茨木かづ子)

花と緑のネットワークとよなか・2003年度(平成15年)の活動計画

持続可能な社会をつくることは21世紀のキーワードです。その実現のために、「花と緑のネットワークとよなか」は

生ごみ・剪定枝→堆肥→農作物→生ごみ→堆肥

の循環を推進しています。学校給食からの生ごみと剪定枝からの堆肥化施設である「緑と食品のリサイクルプラザ」は、4月12日に満1年を迎えました。この豊中生まれの堆肥「とよっぴー」を使った活動、堆肥に関連した普及・環境教育の活動をさらに充実・拡大します。

その中の主なものは次のとおりです。

1. 食の循環運動

野菜の直販活動を定期的で開催します。

従来の豊能・箕面の農園の上に、志を同じくする豊中の農家の方々ともつながりが出来ました。そこからの野菜の販売も行い、さらに地産地消を推進します。

2. 花いっぱい運動

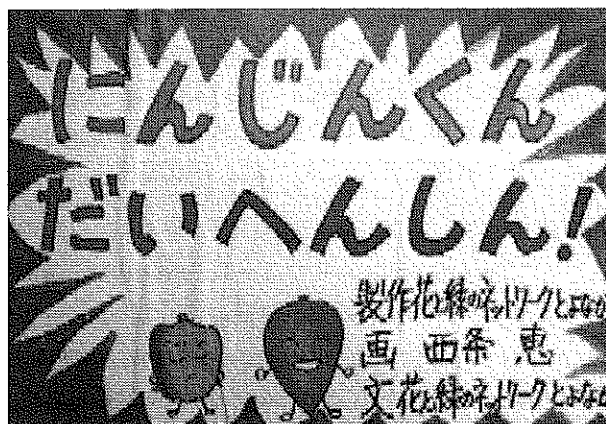
現在の17拠点を、さらに増やします。

学習交流会を開きます。

3. 堆肥化講習会

現在、40名の参加がありますが、出前講習会を市内各地に広げます。

マンションなどで出来た堆肥を引き取るシステム



紙芝居のタイトル画

を作ります。

4. 環境教育

メンバーで手作りした紙芝居「にんじんくん だいへんしん」を出前で広めます。

メンバーで手作りしたエコクッキング「大根まるごと利用術」(100円)を広く頒布します。

5. リサイクルプラザ支援事業

循環の輪グループへのとよっぴー配布
堆肥化の相談を行う。

6. 全体

活動全体をやりやすく、着実にするために、新しい組織化を検討します。(浅井 正)

自然部会・猪名川水鳥観察会

日 時：2月22日(土) 天候：曇のち雨
コース：利倉橋～園田競馬場横～田能遺跡
参加者：25名

空はどんよりと曇っており、予報も雨と報じているが、何とか半日持って欲しいと祈る。双眼鏡の取扱説明後マイクロバスで市庁舎をスタート、利倉橋尼崎側に10時に到着した。

今年は例年と異なり上流に向かって進み、田能遺跡を終点とするおよそ2時間のコースである。到着後2グループに分かれてそれぞれ団体行動を取ることにした。

さて、目の前の利倉橋付近は、コースの中でも最も水鳥が多い所なので、たっぷり時間をとり観察をする。カモ類が多い。くちばしの大きなハシビロガモは小集団で円をえ

がくようにぐるぐる回り採餌する習性がある。小さいながら頭のグリーンがきれいなコガモ、鼻筋がクリーム色のヒドリガモは集団で泳いでいる。

でもいつもと違うのはユリカモメがいない。飛んでいるのを1羽見ただけであった。川の中州にはイ

ソシギやコチドリを見ることが出来た。スコープで見てもらう。特にコチドリはチドリ類の中では最も小さい。金色のアイリングがひととき目立ちとてもかわいい夏鳥であるが越冬するものもいる。

途中こども達でにぎわっているところがあった。見ると対岸の木にカワセミが止まっていた。時々小移動をして水の上の横板に止まり水中の魚を狙って

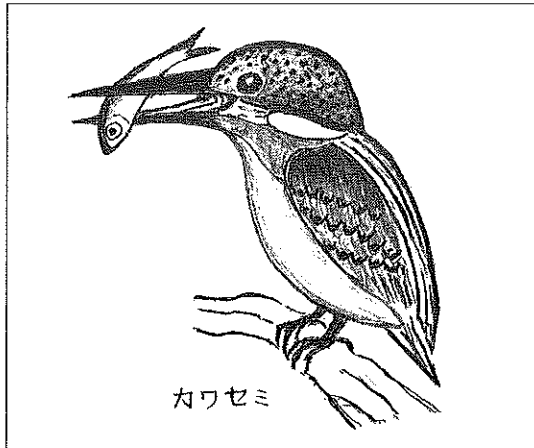
いる。いつも大変人気のある鳥である。背中のコバルトブルー、翼が光沢のあるグリーン、そして大きなくちばしがバードウォッチャーを惹きつける。

下水処理場付近の対岸のヨシの中には、ゴイサギが3羽、真下を今日初めての鴨のホシハジロが泳いでいた。この両者何ら関係ないが、目が赤いという点では共通している。競馬場横を歩いていたら雨が

ポツリポツリと落ちてきた。目的の水鳥は大体見たのでその後はちょっと急ぎながら田能遺跡に戻ったがちょうど12時であった。

陸の鳥ではジョウビタキやシジュウカラをすぐ目の前で、ツグミも沢山見ることができた。

(文・絵：三宅史郎)



カワセミ

—この日に観察した鳥—

水辺の鳥

アオサギ、ダイサギ、コサギ、ゴイサギ、マガモ、カルガモ、オカヨシガモ、コガモ、ハシビロガモ、ヒドリガモ、オナガガモ、ヨシガモ、ホシハジロ、キンクロハジロ、ミコアイサ、カイツブリ、バン、オオバン、カワウ、ユリカモメ、セグロカモメ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、キセキレイ、カワセミ、イソシギ、コチドリ 計27種

陸の鳥

ツグミ、ジョウビタキ、モズ、アオジ、カワラヒワ、ホオジロ、シジュウカラ、ウグイス、スズメ、ムクドリ、ヒヨドリ、キジバト、カラス 計13種

竹炭プロジェクト

昨秋以降、千里中央公園で竹炭を焼いております。今年はドラム缶窯を1個増やして3窯とし、製品の増産と品質の向上を図りたいと思います。

また、「半日で出来る竹炭焼き」をテスト中ですが、これは今後の教材の一つとして活用して行きます。

イベント等にも参加し、私たちの活動をPRし、竹炭、竹酢の頒布も行います。

市民に参加を呼びかけて、一緒に竹炭作りを楽しみたいと思います。(三宅史郎)

企画屋本舗・学習会と親睦交流会

みんな集まって交流しようと呼びかけた

“ウォークラリー”を終えた反省会で、その企画が「新会員の獲得とアジェンダ21の普及」に寄与したかを話題にした。しかし、話はそれ以前のこと、つまり、私達が他の部会・プロジェクトの活動をよ



く知らないということになり、では内部の交流会を設けようという結論になった。せっかく交流するな

ら学習会もと企画、講演会もセットした。

第1部 講演会

講師の萩原喜之さんは、中部リサイクル運動市民の会で20数年間“ごみ”を通して活動してきた人である。話は私たちの活動が<自立>することの重要性を述べて、エールを送ってくれた。それも多少挑発的な内容を。

第2部 交流会

軽食が用意された会場へ移動、すぐに部会・プロジェクトの活動とメンバーの紹介を開始。しかし1時間では短かすぎた。もっと知りたい、語りたい、今後の課題も共に考えたい…。との思いは充分達成できなかった。次回を乞うご期待！といきたいところだが、とにかく第1回目を企画でき、40人もの参加を得たことは、また一歩進むことができたと喜んでいる。
(新開悦子)

生活部会・グリーンコンシューマー学習会

3月29日、佐川直史さん(産業部会アドバイザー)を招き「グリーンコンシューマーの現状と課題について」以下の内容の学習会を持ちました。参加者は11人。

グリーン購入法ができて以来、グリーン購入ネットワークの組織が96年に立ち上がり、事業者の間ではグリーン購入が急ピッチで進んでいます。ネットワークに入っている最大の組織は政府と地方公共団体で、法律では努力義務が決められ、事業者は一般的責務として規定されました。その結果、地方公共団体の80%が取り組み、メーカーでは独自で出しているカタログやパンフの多様な内容が最近注目を集めています。

企業にとってのグリーン購入はグリーン調達でもあります。先進的な企業をみるなら、LCA(原料の採取から販売し廃棄するまでのライフサイクルを通じて環境負荷を考える)による計算結果をパンフなどで発表しています。もう一つの取り組みであるエコラベルでも消費者への積極的なアピールが目立ってきています。

市民としてどう取り組むか。環境市民がグリーンコンシューマー運動で早くからガイドブックを出版しています。地方版の買物ガイドも多く出されています。ガイドブック作りなどをどのようにして進め

るか、行政が取り組んでいる内容なども参考にしつつ、事業者といっしょになって取り組むシステムづくりが必要です。



もうすぐ去年の環境家計簿がまとまります

エコライフカレンダーで取り組みをお願いしている環境家計簿について、2002年モニターのまとめがもうすぐ出来あがります。去年のモニター96人、一昨年より参加者が増えているので、集約の出来あがるのを楽しみにしつつ、スタッフ一同でまとめに取り組んでいるところです。

(奥野 享)

ひと・人・h i t o 山本 和市さん(産業部会部会長)

このコーナーは地域や家庭など身近なところで環境に取り組んでいる人を紹介しています。

山本和市さんの今の肩書きは、(株)山本水圧工業所の相談役である。忙しい仕事の合間を縫ってのインタビューであった。

何を造っているのですか？

「山本水圧工業所って何を造っているのですか」、ぶしつけな質問から話にはいる。山本さんは嫌がる風もなく答えてくれる。「いろいろな油圧・水圧機器、超高压機など注文に応じて何でも造ります」と。日頃から見かける山本さんは隙のない紳士で仕事面でも多忙を極めているのではないかと多少の気兼ねもあったが、扱っている機械のことをあれこれ尋ねると、解りやすい言葉を選び楽しそうに説明してくれた。



つまり、液体をてこにして高压にし、力を移す機械の開発が専門のよ

う。言わば頭脳で勝負する企業だと理解した。以前、灘の酒造メーカーに納めた酒搾り機は、今でも稼働しているとか。そんな製造業の現場の話はいつでも聞いていて楽しいものである。米国の鉄鋼の街ピッツバーグにも製品を納めに行ったと言う。私が面白がって聞こうとすると、そんな自慢話には悪乗りしない。体つきと同様にスマートである。

——本題に入りましょう。企業にとっては相変わらず経済状況は最悪のままですが、新しい年度の豊中アジェンダ21推進会の産業部会の運動について考えていることなどは？

「工業会などで環境問題を話題にすると、総論では反対はありません。しかし各論が別なのはどこの議論でもいっしょです。性急にならずボトムアップでやっていくのが運動だと思っています」と。

企業は色々トライします

「同時に、これからの産業が環境問題への考慮なしには成り立たないことも、皆よく解っています。技術者は可能性があればすぐトライするのが普通です。風力発電が豊中ではむづかしいとしても、太陽電池なら可能性があるのではと、それを取りつけ冷暖房費を削減したり、いろいろと省エネの努力をしている企業が

庄内地区にあるのは、よく知られているとおりです」

そういえば庄内のある工場紫外線を避けるフィルムを窓ガラスに貼りつけ、夏の冷房費が節約できたことを、筆者も工場見学で聞いている。

「実現可能なことがあるなら、どこの企業でもすぐに現実化させます。そのための情報が欲しいですね。アジェンダ21推進会の会議に来て得るところがあると、人も集まります」

「でも現実の多くの問題は、いつもメリットとデメリットの両面があります。また全体のメリットと一部のデメリットの調整が必要だったり、複雑な関係もできます。以前に経験した庄内開発でもそうでした。どんなメリットがあるかは企業にとって最大の問題です。交通アクセスの悪い庄内地区に東西の道路をつけることが話題になりました。全体的にメリットがあっても、一部の企業の敷地に道路がかかると、企業としては功罪を秤にかけて考えなければなりません」

今後、地域計画の構想もぜひ

——庄内開発で色々苦勞を経験されたようですね。

「1960年代から豊中市としても庄内地域開発が繰り返され議論されてきました。その頃に『八興会』の名で庄内地域の企業20社ほどが集まり、地域振興について相談しました。でも、いまだに地域開発は十分には出来ていません」

最近ではローカル・アジェンダと言え地域計画作りも含めて構想するのが本来の姿だという説も強い。豊中アジェンダ21見直しの時期だが、いよいよ山本さんの出番ではないかと、ひそかに思う。

——技術者として環境問題に賭ける夢は？

「IT(情報技術)の時代だと言われています。私はITも含め《4つのT》を考えています。4つのTとはITに加えBT(Bio Technology、生物技術)、NT(Nano Technology、1兆分の1を扱う技術)、ST(Social Technology、社会的技術)。こうした技術進歩が21世紀は急速に進みつつあるので、今の時代の課題にも新しい解決法を見いだすことができるのではないかと思ったりします」

「運動の組織の拡大についても、しっかりとした核になるものが出来たら、後は足し算で殖えるのではなく、乗数で拡大して行くものだと思います」

温厚な話ぶりと、久しぶりに聞く技術畑の人らしい発想で、実に楽しい取材となった。(奥野 享)

豊中市のうごき

豊中市では、4月1日付けで組織が変わりました。従来、生活環境部、土木部、環境事業部にあった各課がいっしょになり、総合環境行政の推進を図るため、環境部としてスタートしています。(右の図のとおり)

これからも、市民のみなさんと共に、望ましい豊中の環境を実現するため、いろいろな施策を実施していきます。次の世代により良い豊中を残していきます。

環境部

環境政策課 ⇒ 総合的な環境政策を推進

環境保全課 ⇒ 環境保全の充実(自然環境保全)

公園みどり推進課 ⇒ 公園の管理、緑化の推進

廃棄物対策室

減量推進課 ⇒ 廃棄物の減量推進

美化推進課 ⇒ 環境美化の推進

中部環境センター	}	⇒	ごみの収集並びに処
南部環境センター			理施設への搬入及び
北部環境センター			搬送

環境学習推進プランできました!

豊中市では、環境学習事業を進めるため、生涯学習推進プランと連携を図りながら、「環境学習推進プラン」を3月に作成しました。具体的には、学校・幼稚園・保育所での環境学習の支援や、環境学習推進するための情報や場所などの整備を行うものです。

また、現在、豊中市や近隣市で環境学習ができる施設や、市が貸し出しできる環境学習資料などをまとめた「環境学習推進プランガイドブック」もあわせて作成しました。

環境報告書(2001年度版)できました!

豊中市の環境に関する事業をまとめた環境報告書を3月に作成しました。報告書では、市の環境施策だけでなく、とよなか市民環境会議の活動についても、市民の環境行動として掲載しています。また、中間報告の段階で市民のみなさんからいただいたご意見に対して、豊中市の考え方を公表しています。

今年は概要版も作成しましたので、一度ご覧ください。

これら「環境報告書」「環境学習推進プラン」「環境学習推進プランガイドブック」は市のホームページでご覧いただけますし、市役所環境政策課(第1庁舎5階)でもお渡ししています。

市のホームページアドレス <http://www.city.toyonaka.osaka.jp/> 問合せ 環境政策課 TEL6858-2128

第5回豊中市都市デザイン賞応募のご案内

趣旨

豊中市ではうらおいのある美しいまちをつくるため、都市景観条例により「豊中市都市デザイン賞」を設け、周囲の環境と調和し、個性を活かした建物・広告物、まちなみやすぐれた景観づくりの活動などを表彰しています。

募集・表彰の対象

①豊中市域内にある建築物、工作物、広告物などの物件またはまちなみなどで、おおむね5年以内につくられたもの ②豊中市域内で市民や事業者、団体などが行う景観形成にかかる自主的な行為や活動。

応募方法

物件名と所在地あるいは活動内容(活動場所)と団体名、応募・推薦理由、住所、名前(フリガナ)、電話番号を書き、官製ハガキや封書・FAXまたは、市の公共施設で配布していますチラシ内のハガキで応募してください。電話による応募は受付けていません。

応募受付期間

平成15年(2003年)6月13日~7月4日(必着)まで

お問い合わせ・応募の宛先

〒561-8501 豊中市中桜塚3-1-1 豊中市環境政策課
TEL06(6858)2522 Fax06(6842)2802

今後のスケジュール

花と緑のネットワークとよなか・堆肥化講習会

- 日 時 7月12日(土) 10:30~11:30
- 日 時 8月 9日(土) 10:30~11:30
- 場 所 くらしかん
- 日 時 7月23日(水) 10:30~11:30
- 日 時 8月27日(水) 10:30~11:30
- 場 所 緑と食品のリサイクルプラザ
- 内 容 家庭でできる簡単な堆肥化の方法

とよっぴー有料配布

- 日 時 7月12日(土) 11:30~12:30
- 日 時 8月27日(水) 11:30~12:30
- 場 所 緑と食品のリサイクルプラザ

豊中まつり

- 日 時 8月2日(土)、3日(日)

- 場 所 豊中市民会館大集会室
- 内 容 アジェンダ21の活動パネルの展示

自然部会・箕面の自然、水生昆虫観察会

- 日 時 7月12日(土) 9:00~15:00
- 場 所 箕面川、滝道
- 内 容 水生生物と植物観察
- 持ち物 弁当、水筒、タオル、靴、双眼鏡など

*詳しくは「広報とよなか」をご覧ください。

◎次の部会等は定例的に会議を行っています。参加を希望される方は、事務局までお問合せください。

- 自然部会 毎月第2月曜日 18時~
- 生活部会 毎月第3土曜日 13時30分~
- 花と緑のネットワーク 毎月第1金曜日 14時~

編集室から

屋久島で環境自治体会議が開かれたのは5月の末だった。鹿児島県屋久町は、自然と共生したゼロエミッション(完全循環型)のモデル自治体にしようと燃えている町である。この会議に私たちの組織からも代表3人が参加した。悪いことに会議の閉会する5月30日になって台風に見舞われ、世界遺産の縄文杉を見に行くこともできずに帰ってきた。台風でフライトが中止になればどうしようと心配し、早いめに空港に戻って就航予定の掲示板とにらめっこをしていたら。時間待ちの間、空港ロビーでは38年ぶりだという5月の台風を「地球温暖化による異常気象だ」と口々に語っていただろう、そんな様子が想像される。

その頃、私は生活部会の仲間といっしょに環境家計簿の集約会議の机を囲んでいた。昨年11月から例年以上に暖房の使用が跳ね上がっているのに気づき、何でだろうと議論していた。標本数が少ないためのゆらぎの範囲なのかなど話題になり、豊中市役所から月平均の気温変化の資料をもらい、確かめて見たところ例年の11月は12~14度なのに、去年の平均気温は10度に下がっている。私自身の環境家計簿の記録でも、昨年11月に暖房の使用量がうんと多くなり、そのまま冬中は暖房する量が多かったように思う。

地球温暖化については、早くから「異常気象が起こる」と言われているが、どの程度が異常なのか分りにくく、具体的な例を挙げるのがむづかしい。でも、こんなちょっとした調査によっても、意外な発見をすることがある。そのような気づきや、小さな大発見があれば、ぜひニュースレターに寄稿をお願いする。

身の回りの「何でだろう」などを、大いに話し合ったり、知恵を持ち寄れば調査の範囲を広げることできる。そんな活動を集積できることも、私たちの運動の楽しさだろうと思っている。(Z)

《広報チーム》

Z奥野、T浅井、M荒井、W岩瀬、P大村、K別所

編集スタッフ募集

豊中アジェンダ21推進会では、3か月ごとにニュースレターを発行しています。

パソコンの得意な方、取材に出掛けて原稿を書いてくださる方、編集を手伝ってくださる方を募集します。どなたでも大歓迎です。

まずは、事務局までお電話ください。

電話 06-6858-2127

<http://www.5b.biglobe.ne.jp/~toyonaka/>